

広報 すずらん

NO.37

発行日：2010年10月1日
発行元：社会福祉法人すずらんの会
理事長 大長義信
〒252-0328
相模原市南区麻溝台7-1-7
TEL:042-749-8881
URL: <http://www.suzuran.or.jp>
E-mail: kouhou@suzuran.or.jp

巻頭言

支えられて20年

理事長 大長 義信



通所授産施設としてワークショップ・フレンドが誕生して丸19年、同種施設のグリーンハウスが出来てから11年半が経過しました。この間、私達を取り巻く福祉制度も一度ならず変わり、3年後には又新たな制度への移行が計画されています。

どんなに制度が変わろうとも、私達法人の目指す所が変わる事はなく、これからも障害のある人達が社会的な自立を果たす事が出来るように最大限のお手伝いをして行きたいと考えています。

法人設立20年になる今年、法人ロゴマークを作成しましたが、そこに、「みなさまに、支えられて20年」と入れました。この一行に私達法人職員全員の思いが込められています。

授産の仕事を通じて支援を続けてくれている多くの企業の皆さん、そして街なかでの施設運営を温かく見守っていて下さる地域の人達に助けられて利用者も安心して通う事が出来、お陰で毎年30名を超す一般就労実績や平均を上回る利用者の工賃も得られている事のありがたさを痛切に感じています。

然しながら、これからの10年を標榜する時、法人そのものの存在価値が云々されている現在、今迄の運営姿勢にあぐらをかいていられる時代ではなくなるでしょう。無尽蔵な福祉財源などある筈もなく、少ない費用でも最大の効果を挙げる法人経営が求められる事になるでしょう。福祉の仕事だからという甘えを一切捨て、世の篤志家の援助を求めず自力で経営を成り立たせる心構えが法人全体に必要ななるだろうと考えています。

トピックス

海外からの お客様を迎えて (法人内見学記)

6月24日(木)はモンゴルから、モンゴルダウン症協会の親御さん、特別支援教育の学校の先生、日本側の受け入れ団体(MSD)の職員など、総勢10名のお客様をお迎えし法人内の見学会が行われました。

7月21日(水)にはエジプトからNICAエジプト現地事務所の職員とNICAの日本人職員など合計3名のお客様をお迎えしました。

どちらの日も、一日かけてグリーンハウス、すずらの家、ワークショップ・フレンド、ホームすずらんを見学し、昼食には私たちと同じメニューの施設の給食を召上がって頂きました。

どのエリアでも質問が飛び交い、ノウハウを持ち帰りたいという熱意にあふれていました。国の状況は違いますが、モンゴルもエジプトも、ちょうど日本の30年前の状況と同様に、障害を持つ方々へのサービスや社会資源はこれから作っていくという状況だそうです。すずらの会は親のパワーから生まれたという経緯が皆さんの関心を集め、理事長や総合施設長とのディスカッションも予定時間を超えて熱いものとなりました。

これからも、多くの人に自信を持って見ていただける実践を日々重ねていきたいと思えます。
(ばれっと 所長 斎藤 優子)



(エジプトからのお客様)



(モンゴルからのお客様)



サロンコンサート報告

毎年恒例になりました「すずらん2010サロンコンサート」が7月10日(土)に行われました。相模原市民健康文化センター様のご協力で「広報さがみはら」やポスターの掲示など、事前の宣伝効果で、来場者は350名以上となり、過去最高の入場者数を記録しました。年々増えていく来場者数、地域の方々への知名度は上がってきているのではないかと感じています。今後も期待に応えられる企画を考えていきたいと思ひます。



(サロンコンサート出演者)
style-3!・座間ウクレレマイスターズ
カントリーキングス(在日米陸軍軍楽隊)

エイブルアート展報告

7月5日～11日に開催されたエイブルアート展は、迫力のある油絵や趣味を生かした作品など、100点程の作品が集まりました。どの作品も自由に表現されていて観賞に訪れた人たちを感心させているようでした。まさに、芸術に障害の有無は関係ないと感じられる展示会でした。

(イベント委員会 宮原 義行)



秀川太一 (ばれっと利用者) 『ワニ』

神奈川県共同募金会を通じて配分金をいただきました 皆様のご協力に感謝いたします



(工事中のグリーンハウス)

グリーンハウス (多機能型就労移行支援施設)

開所から11年経ち、建物の老朽化が進んでおりましたので外壁の修繕及び防水工事をさせていただきました。良い環境を維持することで利用者の皆様に安心して通所していただくことができます。

修繕工事

ホームすずらん

環境整備・防火対策

リリーハイムにベランダを設置させて頂きました。ベランダができたことで、天候を気にせず利用者が洗濯物を干すスペースが確保でき、また布団も多く干せるようになり、今まで以上に快適な生活を送る事ができるようになりました。

マリージュにIHクッキングヒーターを購入させていただきました。IHクッキングヒーターは、アンペアの関係で設置できない2ホームを除き、今回ですべてのホームに設置する事ができました。

ホームは利用者の方が24時間365日すごす場所です。より衛生的で安全な生活を提供できるよう、今後も環境整備に気を配って行きたいと思ひています。



(雨が降っても洗濯物は大丈夫!)



(今日のメニューは?)

シリーズ特集「窓」では、すずらんの会を利用され其々のステージで活躍されている利用者・ご家族にスポットを当て、日頃の思いをご紹介します。第2回目はワークショップ・フレンドを利用し、後に就職された方とご家族に話っていただきました。

特集 窓

健太へ応援メッセージ!!! <家族の熱き思い>

平成22年は私達家族に大きな喜びがありました、それは次男の健太が就労できた事です。

月日の過ぎるのは早いものでつい最近まで学生だった健太が3年間「社会福祉法人すずらんの会ワークショップ・フレンド」にお世話になり就職して、今は社会人一年生として自覚をもって毎日元気に通勤しています。しかし振り返ってみますと、私達家族の力だけではなし得なかった事も多々ありました。家族としての支えや見守る事は当然ですが、健太を取り巻く社会環境変化への順応力や他者との人間関係作り、自己表出や社会生活に必要な勉強訓練等は、多くの支援者の方々の熱心な教育とご指導のおかげと深く感謝をしているところです。

特にワークショップ・フレンド利用の3年間は健太の将来にとって大きな土台となりました。通い初めはコミュニケーションを取る事が苦手でしたので、果たして職員・支援者・利用者の皆さんと良好な人間関係ができていくのか心配でした。また与えられた作業がキッチンとできているか、帰ってくるまで不安の連続でした。しかし1年、2年、3年と経つうちにたくましく少年から青年に変わり成長して行く姿が心配から序々に希望に変わり、胸を轟かした事が忘れません。これもフレンドの職員・支援者の皆さまの厚いご支援の賜物と思ひます。ありがとうございました。

健太の就労先は両親の希望でもあり、主人が40年間勤めた会社の特例子会社でした。家でも主人が会社から帰ってくるのを待ちうけ「どうだった?」とか共通の話題でいっぱいです。本人も会社の人達から声をかけられるのが嬉しいらしく「こんな話をしてくれた」とか主人に報告しています。コミュニケーションを取る事が苦手なので職場の余暇活動等にも参加し、より良い人間関係が出来る様になって欲しい事や無事に定年になるまで元気に勤められる事、また将来はグループホームに入り自立してくれるのが両親の切なる願ひです。

幸いにも私は今、知的障害者を企業内雇用している某企業で、知的障害者の作業指導員として作業・職場生活の指導監督をしております。自分の経験を生かし少しでも皆様にお世話になった分を違った所でお返ししようと頑張っているところです。最後に健太の就労の感想を記して皆様にご挨拶とお礼とします。

保護者 青柳 典子

今年の2月に就職する事ができました。就職して就業時間が少し長くなったので大変ですが、その分お給料が増えたので嬉しかったです。これからも職場の皆と仲良く頑張っていきたいと思ひます。

スリーエムフェニックス(株) 青柳 健太

余暇支援委員会活動報告

(ボランティア交流会)

7月31日(土) 日頃から余暇支援活動にご協力頂いているボランティア等の方々と余暇支援委員との交流会を開催しました。当日は、10名のボランティアや講師の方々に参加され、現在の活動の様子を報告し、また活動を行っていく上での意見や要望等が話し合われました。利用者の皆さんが楽しい時間が過ごせる様に工夫している事や日頃の活動で感じている事等を伺うことが出来、今後の余暇活動を行う上で大変有意義な交流会となりました。また参加されたボランティア等の方々からは一様にこのような交流会の機会がまた欲しいと要望が挙がりました。今後も沢山の利用者の皆さんに楽しく余暇活動に参加していただけるよう、ボランティア等の方々と力を合わせて委員会活動を行っていきます。



(余暇支援委員会 辰口 大樹)

法人設立20周年記念行事等のお知らせ

社会福祉法人すずらの会は、今年で創立20周年を迎えます。その永い節目を記念してイベント委員会では、年間を通して次のような取組や記念行事を計画しています。

既に取り組んでいるものもありますが、皆様のご協力をいただきながら心に永く残るような催しを展開していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。



【実施事項】

- ・ 創立20周年を契機に、すずらの会“ロゴマーク”を作成
- ・ 記念コメント付き事務封筒を作成

- ・ 記念クッキー配布  : 創立記念日(10月1日)・・・役員、職員、利用者
- ・ 20周年謝恩パン、野菜販売  : 10月中に特売日を設定(グリーンハウスにて販売)

祝

- ・ 法人創立20周年記念式典の開催
平成23年1月21日(金) 式典：表彰、あゆみ紹介等 (あじさい会館)
会食：(けやき会館)

- ・ 20周年謝恩コンサート開催 : 平成23年2月5日(土) 杜のホールはしもと

出演者

沢田 知可子
1987年に「恋人と呼ばせて」でデビュー

(代表曲) ・ 会いたい
・ 恋人と呼ばせて
・ Day by Day

魂を癒すヴォイスヒーリングをテーマに全国でうたセラピーコンサートを展開中



Style-3!
高嶋 英輔(バイオリン)
長澤 伴彦(コントラバス)
堀江 沙知(ピアノ)
からなるポップインストユニット

法人の「サロンコンサート」や「フェスタすずらん」にも出演頂いています

お知らせ

毎年行っております「フェスタすずらん」は、記念行事の為開催いたしません。

職員紹介

三室 淳

(訪問介護等サービス・あいあいS)

7月より入職しました三室 淳(みむろ じゅん)と申します。すずらの会とは、ご縁があり6年ぶりに復帰をさせて頂きました。8年前、グループホームの世話人アシスタントとして、お世話になり障害のある方との生活で様々な事を共有し、分かち合える貴重な経験をし、再び携われる事がとても嬉しく思っています。やる気満々！お酒も大好き！ですが、これから一生懸命頑張りますので宜しくお願いします。

寄付

- 住友スリーエム(株)労働組合 様
- 朝倉自動車整備工場(有) 様
- すずらの会後援会 様

ご寄付をいただきました。この場をお借りしまして、感謝申し上げます。

編集後記

編集・校正・レイアウト等多くの作業を効率的にこなしていく事は、日頃の業務に通じるものがあり、各職員の皆さんの協力や智恵が無ければ、より良い広報誌にならないなど改めて感じました。また今年度法人設立20周年という記念行事もあり広報活動もその面で期待されているわけですが、諸先輩方の御苦勞や努力を踏襲し、更なる飛躍を目指すよう頑張りたいと思います。